

大会名称: 第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会

開催場所: Al Gharafa Sports Club (カタール・ドーハ)

試合区分: No. 146 男子 決勝ラウンド・5位-8位決定戦 コミッショナー: VEERASAMY PONNIAH Danapal

期 日: 2014(H26)年8月27日 (水)

主審: ABIRACHED Walid Marcel

開始時間: 13:00

副審: ALTARAWNEH Mohammed Ismail, GHANBARIDAMANAB Sadegh

終了時間: 14:30

日本 (通算5勝3敗)	○ 87	27 -1st- 20 15 -2nd- 11 26 -3rd- 18 19 -4th- 14 -OT1- -OT2- -OT3-	● 63	マレーシア (通算2勝6敗)
----------------	---------	---	---------	-------------------

第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会。日本は、決勝トーナメント、5位-8位決定戦にまわった日本の初戦は、マレーシア。

日本は#4津山、#8内田、#9青木、#13渡辺、#15三上、マレーシアは#4Foo、#8Heng、#11Wong、#12Wong、#13Tingでトスアップする。

第1ピリオド

日本マンツーマン、マレーシア3-2ゾーンでゲームは進む。マレーシアは、#13Tingがローポストで1on1から得点し先制する。日本は、#9青木のゴール下の合わせや、#8内田のブレイクから#15三上が3Pなどで得点する。マレーシアは、#8Heng、#6Weeなどが3Pを決め、#15Liewがフリースローなどで応戦する。残り2分5秒、16-16の同点から日本は、#8内田が連続でジャンプシュートを次々に沈め抜け出し、27-20、日本7点リードで終了する。

第2ピリオド

日本はディフェンスをゾーンプレスからゾーンに変え、マレーシアは、ゾーンからマンツーマンに変えてスタートする。立ち上がり日本は、オフェンスのターンオーバーからマレーシア#13Ting、#10Changに得点され、さらにフリースローを1本決められ27-25と差を縮められる。しかし、日本は#8内田がカウントワンシュート、さらにその内田のドライブに合わせた#13渡辺が得点すると#4津山がドライブイン、#10井手がマレーシアのターンオーバーをレイアップで決め、残り3分14秒、37-25とリードを広げる。その後は互いに得点を取り合い、42-31、日本が11点リードして前半を折り返す。

第3ピリオド

両チーム共にマンツーマンでスタートする。日本は#15三上が3Pを決めるとマレーシアは#8Hengが3Pを決め返す。そこから日本のデフェンスのプレッシャーにマレーシアはターンオーバーを繰り返し得点できない。すると日本は#8内田がゴール下へ飛び込んだり、ドライブインからカウントワンスローをもらうなど連続得点をし、さらに#15三上が2連続で3Pを決め、58-36とする。マレーシアは、#13Tingがペイント内で1on1から得点したり、ファールをもらうが得点差は変わらず68-49、日本が19点リードして終了する。

第4ピリオド

立ち上がりマレーシアは#9Tanがドリブルからジャンプシュート、#13Tingがフリースロー、さらに#9Tanがリバウンドシュートなどで差を縮めるも日本は#12鶴田がジャンプシュート、#4津山のドライブインに#14福岡が合わせて得点、さらにブレイクから#4津山のドリブルインにまたも#14福岡が合わせる。そして#8内田がブレイクからレイアップを決めて76-54と逆にリードを広げる。その後も点差は変わらずにゲームは進み、最後は87-63で日本が勝利した。

明日の最終日、現地時間13:00～、フィリピンと5位決定戦を行う。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会